



第16号

令和2年10月2日発行

タイトル 佐久間七保さん

* 前期の成長と後期の抱負

＼始業式で発表しました！

前期の期間、成長したと感じることは、去年より多くの人とコミュニケーションを上手にとれるようになったことです。一年生や二年生の頃は、いつも話す人が大体決まっていた、他の人と話すのは必要最低限という感じていた。しかし、三年生になってからのことを振り返ると、いろいろな人と分からない問題について話し合ったり、何気ない話をしたりするようになったと感じます。

後期は、学習面では、定期考査で十位以内に入ることを目指します。私は、二年生前半までは順位が一桁だったのですが、その後はずっと二桁です。後期生に入る前の今のうちにもう一度十位以内に入ることを目標にし、今から勉強を頑張りたいです。

もう一つは、六煌祭で応援賞をとることです。私は今回、初めて応援団に入りました。去年は賞をとれなかったこともあり、今年は応援賞をとりたいという思いが今まで以上に強くあります。応援賞をとることを目指して緑連みんなで頑張れるよう、リーダーとして連合を支えたいです。

「進」という漢字には、「前に動く」だけでなく、「のぼる」「前に出て仕える」「よくなる」「やる気になる」などの意味があります。そういったことを大事に、学習でも、行事でも、周りの仲間と助け合いながら、進んでいきたいです。

(本間進之助さん)



私が前期成長したことは、学習習慣の改善です。特にテスト期間に感じることができました。理由は、テスト期間中に、勉強を継続することができたからです。今回のテストは、前回よりも良かったと思います。毎日コツコツ続けていくと、思ったよりも頭に入りやすく勉強できるなど実感することができました。これは今後も続けていきたいと思っています。

後期の抱負は、前期に続き、学習する習慣を身につけることです。毎日勉強するというのは、最初はめんどくさいなと思っていましたが、慣れてくるとあまり苦に思わなくなるような気がし

ます。こうなると、続けられるなと思いました。「継続」を目標にして、毎日少しずつでも成長できるといいなと思っています。勉強する習慣が身につくと、もう少し成長できると思います。

(島田舞生さん)



私の前期の成長は、当たり前だと思っていたことの特別さに気付けたことだ。休校期間を含め、新学期からの学校生活の中で、一日一日の授業の大切さや学校行事の楽しさ、部活動に思いきり打ち込める嬉しさ、友達と過ごすことの喜びが、毎日必ずあるものではない特別なものだったのだと思い知った。私は特に、友達の大切さに気付いた。家の勉強は、集中できるが、すぐに飽き、やる気も出ない。しかし学校で友達に会うだけで気持ちは上がり、授業も楽しかった。休み時間のくだらない話が何よりも面白く、楽しい時間だ。いつもそばにいる友達は特別な存在である。

私は、後期を一日たりとも無駄にせず、勉強や物事に熱心に取り組みたい。友達とのくだらない話をする時間も、思いきり楽しみたい。17期生のみんなとたくさん関わりたい。後期が終了した日、本当に楽しかった、頑張ったと言い切れるように、今やるべきことに向き合い、挑戦していこうと思う。

(本間心陽さん)



* あなたは、あなたの人生の主演

9月30日、学年学活を実施しました。輪になってお互いの顔を見ながら、この半年の歩みを振り返り、みんなで次の目標に向かう、あたたかく前向きな雰囲気の中で前期を締めくくることができました。

誕生日順に並んで輪になり、15歳の誕生日を迎えた人たちをお祝い♪

六煌祭の応援リーダー・連合旗係からは、「3年生みんなで六煌祭を盛り上げよう！」という力強い挨拶！

前期学級委員は、前期を振り返って、クラスの好きなところや成長したことについてスピーチ。



前回の学年学活では、「見えているだけがすべてではない。一人ひとり、違う人生を歩んでいる。あなたはあなたの人生を大事に。そして他の人の人生も、同じように大事にしよう」という話をしました。

実は、今回バースデーリングを作ったのは、それを思い出してほしいなという思いもありました。79人みんなに誕生日があります。あなたが生まれた日には、家族はとっても喜んでくれたはず。初めて寝返りを打てた日、歯が生えた日…きっと、ごはんをちゃんと食べただけで褒められたりもしましたよね。それからいろいろなことに出会って、試練を乗り越えて、たくさんの人に見守られて、今のあなたがいます。友達も、同じです。みんなに必ずある「誕生日」。自分や仲間のこれまでの道に思いをはせるきっかけにしてみてもどうかと思っています。

生きていれば、毎日楽しいことばかりではないかもしれませんが、大変なことも、落ち込むこともありますよね。だけど、あなたはあなたの人生の主演。どんな物語でも、主演に試練はつきものです。17期生79人のそれぞれの物語は、まだまだ続きます。後期の半年間も、17期生らしく、たくましく進んでほしいです。悩んだり、迷ったりもするかもしれないけれど、こんなにすてきな、頼もしい仲間が登場する、あなたの物語。これから先の展開も、わくわくしませんか？「まあ、いっか！」の精神も忘れずに、楽しんでいきましょう♪

＼ 3年生折り返し記念の集合写真 ／



* * * * *
新潟県立村上中等教育学校
TEL 0254-52-5115
FAX 0254-53-6773
学校ホームページ URL
<http://www.murakami-ss.nein.ed.jp/>
17期生用メールアドレス
mrk-ss.17@murakami-ss.nein.ed.jp
* * * * *